

令和3年度

第2回公民館運営審議会議事録

令和3年9月17日開催

令和3年11月15日承認

令和3年度第2回公民館運営審議会は、新型コロナウイルス感染症防止対策として、対面方式の会議を開催せず、書面のやりとりを通して意見と回答を交換して議事録を作成する一連の流れを1回の会議として行った。

以下、この方法による会議を書面会議という。

1 第2回会議の流れ

書面会議開催日	令和3年9月17日（金）
委員からの意見提出期限	令和3年9月24日（金）
議事録承認	令和3年11月15日（月）

2 出席者

（委員）

勝田委員長、田中副委員長、柗委員、岡本委員、大川委員、谷口委員、渡邊委員、梅本委員、阿部委員、松浦委員、林委員、永田委員

3 議 事

下記議題について、書面会議として資料に基づき委員から提出された意見・質問に対して回答を行った。その内容は別添のとおり。

1 審議事項

1) 公民館主催事業（10月～12月）開催計画について

2 その他の意見

令和3年度第2回浦安市公民館運営審議会

意見・質問及び回答一覧

(1) 審議事項

1) 公民館主催事業（10月～12月）開催計画について

(2) その他の意見について

(1)審議事項 1)公民館主催事業(10月～12月)開催計画について

	ご質問・ご提案・ご感想	回 答
1	ワクチン接種会場との兼ね合いで困難な部分も多いと思うが、コロナ禍の中、高齢弱者の居場所づくりを今後考えてほしい。	高齢者を対象とする事業につきましては、現在、「おたっしや体操」や「うたごえサロン・広場」など共通で行っています。今後も高齢者を対象とした講座を行っていく考えです。
2	高洲公民館の「子ども環境講座」は大変良い。今後も掘り下げて拡大してほしい。	子供たちの学びの機会を広げる講座を行っていく考えです。
3	元町の公民館での主催事業が多い。新町方面からでは少し遠く参加するのに考えてしまう。	コロナ禍により、令和3年度は行える事業に限りがありますが、今後も全公民館において様々な主催事業を行っていく考えです。
4	中央公民館の「心のやすらぎサロン」は、障がい者が仲間との交流によって楽しい時間を過ごすことができ、少しでも前向きな気持ちを持つことで良い方向に進んでほしい。	参加者の声を傾聴するとともに精神保健福祉士との意見交換などを十分に行い、今後も「心のやすらぎサロン」が参加者にとって充足された事業、憩いの場となるよう努めていきます。
5	堀江公民館の「免疫力アップピラティス」は、自宅で気軽にできるのであれば講座に参加した後、自宅でも体験してほしい。	参加者が講座後も引き続き自宅で気軽にピラティスを行い、健康維持につながるような講座にしたいと考えております。
6	堀江公民館「子育て応援講座 パパママ応援」について、対象が未就学児の保護者となっているが、開催日が土曜日なので保育を設定してはどうか。	保護者の方が安心して講座に参加できるよう保育付きの講座としております。
7	体力づくり、体を動かす講座は、コロナ禍で運動不足になりがちな状況のためとても良いと思う。妊婦、乳幼児のいるお母さん向けの講座も応援したい。	今後も、親子で参加や乳幼児の保護者向けの講座など行っていく考えです。
8	中央公民館の「オンライン版 家庭でできる季節の料理教室」は講義形式か、材料を各自用意して一緒に作ることができる講座なのか。開催日が土曜日であり、家族で楽しめる料理教室に期待している。	参加者に各自材料を用意してもらい、講師と一緒に作ります。オンラインの良さを生かし、手元を常時撮影することで通常の料理教室よりもわかりやすい料理教室になり、家族で参加することが出来れば良いと考えています。
9	美浜公民館の「にこにこ運動広場」は「学校体育の補助としての運動プログラム」なので参加者はうれしいと思う。17時30分開催は高学年に喜ばれると思う。中学生にも開催してほしい。	中学生向けの事業も検討しましたが、体格の良い子どもが予期せぬ行動を起こすことが懸念されるため、安全性の面で今後、講師とも協議しながら令和4年度に向けて検討していきます。
10	中央公民館の「子育てソーシャルミーティング」はよく工夫されている。自己肯定感を持ち、体験を通じて参加者が親しくなれ、子育て環境を皆で良くしようという意識が生まれてくる。	過去の参加者が企画運営委員を行っており、今後も参加者の声をヒントに企画をしていけるよう努めます。
11	富岡公民館の「浦安こども俳句大会」は、表彰だけでなくもっと市民に披露してあげてほしい。また、俳画や書道サークルと連携して色紙などにしてほしい。	表彰された作品については、ルネサンスへの掲載、各公民館での掲示で周知しております。他のサークルとの連携については、審査員の先生方の意見も伺い検討していきたいと考えています。
12	高洲公民館の事業がスポーツに偏っているが、一般向けのスポーツ以外の講座は今回ないのか。	コロナ禍により、令和3年度は行える事業に限りがありますが、今後はスポーツ以外の様々な主催事業を行っていく考えです。

13	中央公民館の「オンライン版料理教室」と「消費生活センター共催人生100年時代のライフプラン」は魅力的で人気がある講座になると思う。	今後も市民の声を反映させた主催事業や共催事業を行っていきます。
14	資料の「期日・期間」欄に曜日の抜けている講座がある。すべてに記載したほうが見やすい。	今後は、記載する方向で統一します。
15	堀江公民館の「エコ織体験」は、おおむね50歳以上に限らなくてもよいと思う。年齢制限する理由が知りたい。	当初、高齢者（向老期を含む）への取り組みとしていましたが、講師よりSDGsについても説明していただけることとなりましたので、高齢者（向老期を含む）を対象とした現代的課題への取り組みとして位置づけ、おおむね50歳以上としたものです。なお、今後、年齢に関係なく、現代的課題の取り組みとして講座を位置づけることも検討していきたいと考えております。
16	コロナ禍において、オンラインの講座が増やせればより多くの方が安心して参加できると思う。オンラインでできる講座をさらに検討をしていくとよいと思う。	オンラインの講座については、送受信の環境を整備しながら今後も積極的に行っていく考えです。
17	コロナ禍で実際の子ども姿が見えない今、当代島公民館の「子育て応援講座 これからの社会を生きる子どもたちに」は子どもの気持ちが聞けそうな講座で、このような講座が今後もあるとよい。	コロナ禍により生活やコミュニケーションの取り方も変化してきたと感じています。子どもを軸に地域の方々の声を聴きながら、現状に即した講座を開催していけるよう努めてまいります。

(2)その他の意見

	ご意見	回 答
1	活動が制約されているが、感染者も減っていることから10月からの講座の開催に期待している。	公民館利用に制限はありますが、状況をみながら主催事業を行っていく考えです。
2	ワクチン接種会場やコロナ禍で内容や人数が制限され事業開催が困難なこともあると思うが、公民館によって事業数に差があるのはなぜか。	各館ともに一定の事業を行うこととしていますが、館の規模や間取りの違いもあり、サークル活動とのバランスを考え、各館工夫をし計画しています。
3	今後もこのような状況が続くと思われるので、オンラインで配信できるような講座があると可能性が広がると思う。受講者側も対面、オンラインの選択肢が増える。また、初めての方向けに、オンライン講座のための使い方講座などがあると参加しやすくなるのではないか。	オンラインの講座については、送受信の環境を整備しながら今後も積極的に行っていく考えです。
4	退職後に必要な知識を安心して学べる講座が求められていると思う。税金、年金、社会保障、介護保険など公民館で信頼できる講師から学べる講座があったら助かる方は多く、仲間づくりにも役立つのではないか。	高齢社会が進行している現在、必要な内容であると考えています。今後も、対象者向けの講座を行っていく考えです。
5	事業開催に制約が多く先の見えない中、様々な年齢や立場の人を考慮した講座があるとありがたい。	コロナ禍により、令和3年度は行える事業に限りがありますが、今後も様々な世代を対象とした主催事業を行っていく考えです。